

ひろか

だより

第409号
令和8年8月21日
発行
弘果
弘果 弘前中央青果株式会社
津軽の「うまい」がここにある



津軽りんご市場開市の様子



弘果りんご開市の様子

令和8年産りんご開市

堅調な取引でスタート

弘果

令和8年産りんごの開市が8月1日、弘果および津軽りんご市場で行われ、極早生種「夏緑」祝「花祝」が上場されました。

午前8時30分から行われた開市には、買参人約200人、生産者約800人が来場しました。競売前に行われたセレモニーでは、大中徹社長のあいさつ（内容は別枠に掲載）弘果りんご買参人共進会の葛西万博会長の音頭による手締め、弘果りんご連絡協議会の林徳昭会長による乾杯が行われました。その後、競売に移り、上場された2272箱（前年比120.3%）が競り落とされました。

古川光輝りんご部部長は、今日の開市を振り返り「極早生種の生産者は減少傾向にあります。品質の良いうりんごが出荷され、取引は堅調な滑り出しとなりました」と話しました。また、今後については「今年は、昼夜の寒暖差や適度な降雨等、りんごの生育に適した天候が続く、果実の肥大も良好に推移しています。今後の天候の

津軽りんご市場

午前8時30分から行われた開市には、買参人約40人、生産者約600人が来場しました。

競売前に行われたセレモニーでは、八木橋宏弥社長によるあいさつ、津軽りんご市場峰会の野呂知洋会長の音頭による手締め、津軽りんご市場連絡協議会の小関清隆会長による乾杯が行われました。その後、競売に移り、上場された1095箱（前年比141.1%）が競り落とされました。

齋藤彰寿取締役部長は、今日の開市を振り返り「前年比で見ると良品の単価は安いものの、中小玉を中心に引き合いが強く、全体的に堅調な取引となり、好調なスタートとなりました」と話していました。また、今後については「猛暑が予想され、生産者の皆さんは

津軽りんご市場（8月1日開市市況）

品種		高値	中値	安値
花祝	令和8年度	21,600	10,800	7,560
	前年比 (%)	111.1	100.0	100.0
祝	令和8年度	7,560	5,940	4,860
	前年比 (%)	82.4	84.6	90.0
夏緑	令和8年度	6,480	4,860	4,320
	前年比 (%)	85.7	75.0	80.0

弘果（8月1日開市市況）

品種		高値	中値	安値
花祝	令和8年度	32,400	10,800	7,560
	前年比 (%)	54.5	100.0	100.0
祝	令和8年度	10,800	6,480	5,400
	前年比 (%)	111.1	100.0	100.0
夏緑	令和8年度	10,800	6,480	5,400
	前年比 (%)	105.3	100.0	100.0

弘果社長あいさつ

日頃、弘果及び弘果グループが、生産者及び買参人を始めとする皆様に大変お世話になっている事に、衷心より御礼申し上げます。

私は今年の5月28日の弘果株主総会の後、弘果の社長に就任した大中徹です。若輩者ではございますが、市場運営の為に一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。

5月28日の社長就任以来、社内及びりんご関係者との会話から、弘果グループが今一番に取り組まなければならない課題は「上下問題」であると確信致しました。「上下問題」とは簡潔に申せば2（ふた）通りございます。りんご箱内の上と下の品質が異なるケースと、段階のりんごの上下段と下段の品質が異なるケースです。「上下問題」の顕著な悪い例は、上が上味、下が傷や加工の場合が多く、年間を通して決して少なくございません。近年の産地りんご相場の高騰に伴い、以前から存在した「上下問題」は、現在は格段に大きな問題になりました。平均単価が1箱5千円の昔と1箱1万円の昨今では、クレームの程度が全く違うのはご理解頂けると思います。

現在の市場のルールでは、業者からのクレームは市場からのりんご搬出前に限定されております。市場外に搬出したりりんごを正確に捉える事は不可能だからです。繁忙期は大量の仕入れが行われるため、購入後の検品作業を、市場からの搬出前に全て行う事は不可能です。りんご業者の検品のコスト負担も相当なものになります。何よりも、不安な気持ちでりんごを仕入れる状態が日常的に継続するのは、決して良いことではございません。また、弘果や津軽りんご市場にとって、りんご繁忙期の毎朝早くからの検品作業は、大きな負担になっております。

こうした「上下問題」の対象であるりんご生産者は、全ての生産者ではございません。一部の生産者が意図的に「上下」を作った結果、りんご市場全体が混乱する結果になっております。産地市場では山選果が前提であることから、厳密に上下の品質を統一して下さいと申しているのではありません。一番上が上味であれば、下のりんごも上味にして下さいとお願ひしているのではありません。

今から約60年前に、私の祖父の大中正元が弘前市松ヶ枝に「りんご専門市場」を開致しました。当時、業者がりんごを仕入れる場合、買子と呼ばれた今というブローカー的な方が、彼らの得意先の産地から自分の顧客のりんご業者にりんごを仲介して、それぞれ値付けをしていたそうです。産地によって、生産者によって品質と価格の差があまりにも大きく、それではいけないという事で、長年の夢であった「りんご市場」を開致しました。りんご品質問題を解決する為に、りんご市場を開業したわけでございます。

時は流れ、60年以上経過したわけですが、今も尚この問題が市場運営を大きく占め、このりんごを仕入れたりんご業者が、会社運営に苦しむ事は看過できません。りんご業者は最新式の選果機を準備して、多くの従業員を擁して、生産者の皆様が命を懸けて作ったりんごを、命を懸けて仕入れ、保管、選果、販売しております。りんご業者にとって

従業員達の生活を守り、会社が利益を出す為にも、りんごの仕入れは一番重要な仕事になります。本日私のこの話を聞いて、お心当たりの生産者の方におかれましては、どうか今年のりんごを市場に出す際には、山選果の範囲内で上下の差が無いようにご配慮下さることをお願い申し上げます。

そうは申ししても、生産者の皆様も大変でございます。温暖化による作業の困難化、豪雪による枝折れ、農薬肥料資材の高騰、人手不足、鳥害や熊による害と毎年の様に大変な事が一つ一つ増えているのが現状です。しかしながら、今一度、生産者、りんご業者、市場が原点に帰り、世界一の品質の青森りんごを世界一のマナーで取り扱って行く事が、持続可能なりんご産業のあるべき姿と信じ、新米社長ではございますが、敢えてこの様に申し上げて頂戴しました。

今後、連絡協議会、買参人の会、市場が協議を重ね、それぞれの立場を尊重しながら、ルールを策定して、「上下問題」を含め様々な問題に対処して行く所存です。私の以上の話から、全ての生産者に、問題がある様に感じた方がいらっしゃるかもしませんが、それは全く違います。繰り返すようになりますが、極一部の、意図的に「上下」を作っている生産者の為に、市場は混乱していると申し上げます。その方々には是非今年から改めて頂きたいと思っております。尚、この「上下問題」を最重要課題としてこれから徹底して行い、風化させない為にも10月頃よりテレビCMを中心に、皆様にお届けする事を現在検討中でございます。上下問題をソフトな口調で防止する、優しいCMになる予定です。どの様なCMになるかは是非ご期待下さい。

津軽の夏は、今日から始まる弘前ねぶた祭りやクライマックスを迎え、お盆が過ぎれば秋の気配と共に、待ちに待ったりんごの収穫が本格化致します。令和8年産のりんごが豊作で、品質も良く、美味しいうりんごになり、高値で取引されます様、そしてそれを取り扱うりんご業者の商売繁盛を祈念致します。本日はおめでたい開市でございます。来年春の止市までの長丁場、どうか皆様、安全と健康第一で、良きシーズンになる事を希望致します。本年も宜しくお願い申し上げます。（令和8年8月1日開市あいさつより抜粋）

出荷予定の方は
収穫前に申請を
お願いします！

**早生種りんごの収穫が
間近となっております！**

重要
事前に記入の上、
書類を式持参
ください。

場所・時間
弘果及び津軽市場
トレサビセンター
8時～17時

休市日のお知らせ
休市日は休みとなりますが、
8/26、9/2、9/9は
トレサビセンターのみ
臨時営業致します。

トレサビセンターの
混雑状況を配信します！！

配信期間 **8月18日～9月29日まで**

弘果・津軽両トレサビセンターの混雑状況を
弘果総合研究開発㈱のHPで公開します。
トレサビセンターへ来場する際にご活用下さい。
混雑緩和の為、WEB登録もご活用下さい。

お問い合わせ：弘果総合研究開発㈱ ☎0172-29-4184

農業の未来を拓く！新規就農者



農業に大きな夢と希望を抱いて就農した人にスポットを当て、紹介します。農業の未来を切り拓く就農者を弘果グループは応援します。

新谷 逸人さん (36)

【園地所在地】弘前市小沢
【作付状況】りんご・80ア、小玉西瓜・20ア

【就農年】2024年
【きっかけ】五所川原市出身で、家業は農家ではありませんでしたが、農業に興味があり、五所川原農林高校、青森県営農高等学校で農業について学びました。卒業後は農業関連の会社に就職し、農業に携わるサラリーマン生活を送っていました。将来的には農業を営みたいという思いがあり、就農に関する情報収集も続けていました。サラリーマン生活も10数年が経ち、農業や社会に関する知識・経験を自分なりに積んだと判断し、本格的に農業で生計を立てていきたいという思いから一念発起して退職を決定しました。その後、条件が合致した農地を取得し、専業農家としての道を歩み始めました。

【現在】農作物の生産は、計画どおりにいかないことが多々あります。取得した農地はりんご園と畑で、畑には小玉西瓜を作付けしました。りんごは成園のため、ある程度の収量が見込める一方、小玉西瓜は想定していた収量の半分程度にとどまり、農業

はマニュアルどおりにはいかないことを痛感しました。りんご、小玉西瓜ともに、高品質で安定した生産に近づけるため、栽培方法を工夫しながら、一つ一つ経験を積み、栽培技術の向上に励んでいます。

【夢・展望】将来的には複合経営も視野に入れています。まずは農業経営の基盤を築き、りんご園の規模拡大を進めていきたいと考えています。りんごを経営の軸として農業経営を軌道に乗せた上で、その他の作付品目についても検討・選定し、安定した農業経営を目指していきたいです。

【座右の銘】「因果応報」この言葉には、「自分の行いは、良いことも悪いことも、やがて自分に返ってくる」という意味があります。私はこの言葉を、日々の積み重ねを大切に、誠実に努力を続けることの大切さを教えてくれる言葉として心に留めています。農業においては、一つひとつの作業を、誠実に積み重ね、自然や作物と真摯に向き合うことで、その努力は必ず実りとして返ってくることを信じています。これからも一つひとつの行動を大切に、高品質でおいしい農作物生産に励んでいきます。



魅力あふれる衣装と踊りで観客を沸かせた出場者

津軽りんご市場第27回仮装盆踊り大会開催

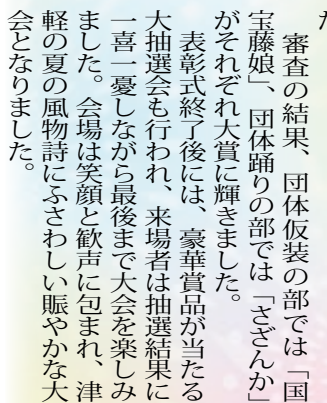
津軽りんご市場において8月17日、りんごの豊作を願うとともに、地域住民の交流を深めることを目的に「第27回仮装盆踊り大会」が開催されました。

大会に先立ち、関係者が出席して「りんご豊作祈願祭」が執り行われ、今年の豊作と地域の発展を祈願しました。祈願祭終了後、盆踊り大会が開催すると、会場には約2千人の観客が集まり、熱気に包まれました。

団体仮装の部には19組、団体踊りの部には5組、個人仮装の部には4人が出場し、「どだればち」の演奏に合わせて、趣向を凝らした衣装や振り付けで踊りを披露しました。出場者は日頃の練習の成果を発揮するとともに、合間には工夫を凝らしたパフォーマンスを繰り広げ、会場からは大きな歓声や拍手が送られました。

審査の結果、団体仮装の部では「国宝藤娘」、団体踊りの部では「さざんか」がそれぞれ大賞に輝きました。

表彰式終了後には、豪華賞品が当たる大抽選会も行われ、来場者は抽選結果に一喜一憂しながら最後まで大会を楽しみました。会場は笑顔と歓声に包まれ、津軽の夏の風物詩にふさわしい賑やかな大会となりました。



踊り大賞「さざんか」



仮装大賞「国宝藤娘」

りんご集荷場オープンのお知らせ

弘果

【期間】9月2日～11月30日
【時間】午前10時～午後6時
【休み】休市日の前日



各集荷場の案内はこちらから

小沢集荷場

090-7529-3736
※アップルロード沿い

目屋集荷場

070-2022-1905
中野※山福アップル敷地内

浪岡集荷場

080-1833-1461
女鹿沢小学校前

大鰐集荷場

080-3149-3657
蔵館※国道7号線沿い
・北伸工機隣

十面沢集荷場

080-4411-8759
旧修齊小学校跡地

平賀集荷場

080-5224-7684
DCM 平賀店付近

鬼沢集荷場

090-2988-2855
鬼沢※(株)丹藤鬼沢SS
・北部配送所隣

津軽市場

【期間】9月2日～11月27日
【時間】午後1時～午後6時
【休み】休市日の前日



各集荷場の案内はこちらから

五所川原集荷場

080-6051-5242
福山※北都観光本社車庫そば

鶴田集荷場

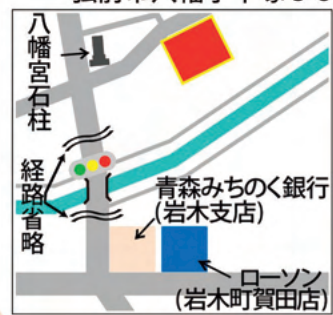
080-5744-5050
廻堰※水元保育園そば

鱈ヶ沢集荷場

080-5744-5048
建石※旧建石小学校敷地内

岩木集荷場

090-1398-1415
=集荷場位置
弘前市八幡字平塚 5-8



弘前市大沢地区の相馬栄一さんは、約60アールの園地で枝豆を栽培しています。今年の生育状況について、相馬さんは「収穫時期に合わせ、これまでの経験をもとに厳選した4品種を栽培しています。降雨が多かったものの、生育は順調です。粒張り、実の入りともに良く、満足のいく出来となっています」と話していました。

相馬さんの枝豆は、8月初旬から中旬にかけて収穫・出荷されています。



満足のいく出来と話す相馬さん

古澤緑のハチスポラジオ

ハチスポラジオ

元弘果SRC所属の古澤緑氏と現所属の土屋正恵選手が対談を行います。冬季オリンピック2大会出場の実績を持つ両者の対談の模様は、9月頃に配信予定です。(毎週金曜日更新)

QRコードから各配信サイトへ！

選果機を使用した信頼の品質



当社オリジナルブランド「つがりあんピーチ」は、選果機を使用して糖度・着色・内部障害を測定し、各等級・階級に選別して販売しています。

「つがりあんピーチ」は、「あかつき」「みさと」「まどか」「川中島白桃」「だて白桃」「幸あかね」「さくら白桃」の7品種で構成されています。早生種の「あかつき」は、8月1日から選果が始まり、販売がスタートしました。

「つがりあんピーチ」について、果実部担当者は「今年は平年より出荷が早いと思います。選果機を使用した信頼性の高い品質を強みに、盆需要をはじめ、有利販売につなげていきます」と話していました。



「つがりあんピーチ」を選果中

「つがりあんピーチ」は、選果機を使用して糖度・着色・内部障害を測定し、各等級・階級に選別して販売しています。

対象品種を栽培されている方で、「つがりあんピーチ」としての出荷を希望される場合は、当社果実部までお問い合わせください。